

一般社団法人日本生活支援工学会の総会付設講演会

## 「介護ロボットの今後と生活支援工学」

日時：2018年6月30日（土）14:10～15:30

場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館N棟1階大会議室

<https://www.waseda.jp/fsci/access/>

参加資格：会員のみならず、非会員の方も参加可能

参加費：無料

事前申し込み：不要

内容：

講演 14:10～14:50

厚生労働省老健局介護ロボット開発・普及推進室 室長補佐

田口 勲氏

「厚生労働省における介護ロボットの取組み（仮題）」

厚生労働省のHP [www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000201028.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000201028.html)

鼎談 14:55～15:45

田口氏と本学会会長経験者の諏訪基氏・藤江正克氏による鼎談

「支援機器・介護ロボットの将来像と本学会の役割（仮題）」

厚生労働省と経済産業省は、ロボット介護機器の重点分野を設定し、開発・普及に向けて諸々取組んできています。介護現場での負担軽減や生産性向上、高齢者の自立支援・QOL向上にむけて、ロボット技術の活用が期待されています。厚生労働省では、2018年4月に、介護ロボット開発・普及推進室を設置し（室員10名）、同時に学識者9名を参与に任命し、経済産業省との人事交流も盛込み、連携強化した体制で、介護の現場の改善に取り組み始めました。

本講演会では、その要の田口室長補佐に、取組み内容とその意気込みについてご講演いただき、参与になった諏訪・藤江両学会長経験者と3人で、この分野の将来像や本学会に役割について語っていただく鼎談を行います。

国と学会の連携は、本学会立ち上げの際の重要なミッションの一つでもあります。この鼎談で、社会の課題解決へ貢献する学会像についてお話いただきます。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

問い合わせ先：一般社団法人日本生活支援工学会事務局 [wsat@jswsat.org](mailto:wsat@jswsat.org)